

広報 の み

Nomi City News Letter

1月号

2021 No.192

広報能美



第5回九谷めり絵コンテスト グランプリ 沼田実優さんの作品

主な内容

- 市長・議長年頭のご挨拶
- 能美市長選挙および能美市議会議員補欠選挙について
- 市民税・県民税の申告、所得税の確定申告を受け付けます

今回の九谷めり絵のお題は、松山窯「まつやまがま かぶ ゆうきん ず燕にとまる雀すずめが可愛らしく描かれた江戸末期の名品です。「雀」は鳥の中でも群れをつくり行動することから、古くから繁栄や豊作の意味が込められた吉祥柄として用いられています。

謹賀新年

能美市長 井出敏朗



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、市政運営にひとかたならぬご支援とご協力を賜り御礼を申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、罹患された方々の1日も早いご快復をお祈り申し上げますとともに、最前線でご尽力いただいている医療従事者の方々に敬意を表し深く感謝を申し上げますと存じます。

小中学校の臨時休校をはじめ各種事業・イベントの中止や規模縮小、公共施設の利用制限などが相次ぎ、暮らしや経済活動に多大な影響を及ぼす恐れがあることから、本市独自の「安全安心対策」「家計対策」「経済対策」を3本の柱とした緊急対策補正予算を編成し、市民の健康を守り地域経済の立て直しに全力を挙げて取り組んで参りました。このような中、人と接触する機会が極めて少なくなったことで、改めて人と人の絆の大切さを実感した1年となりました。

また、クマの目撃件数が急増し過去最多を記録したことから、人身被害を未然に防ぐためにパトロールの強化や雑木林の刈払いなどの対策を講じてきました。実り豊かな資源にあふれる能美ならではの魅力を強みとする一方で、市民

の安全安心な生活をお守りしなければならぬ使命を再認識いたしました。

能美市が誕生して15周年を迎えた節目にふさわしく、「2020年度SDGs 未来都市」の認定を受けました。まちづくりは人づくりと申しますように、能美市民の「お人柄」をバネに、誰もが安全安心快適に暮らし地域共生社会、持続可能な能美づくりの実現を目指してまいります。また、10月には待望の「能美ふるさとミュージアム」がオープンしました。能美の総合インフォメーションも兼ねた過去と未来を結ぶ夢のランドマーク施設には、市内外から多くの来館者が訪れています。

このようなふるさとの魅力をさらに高める環境も整ってまいりました。2月6日にグランドオープンを迎えます「スーパードホテル石川・能美根上スマートインター」は、ものづくりのまちのビジネスを支える施設として期待され、クアハウス九谷及び福島保育園の民営化は、健康づくりと子育て支援の充実を図るために着手いたしました。さらには、「澁谷工業株式会社」「株式会社オンワード技研」「株式会社歯愛メディカル」「石川日野自動車株式会社」の福島グラン

パークへの進出や「株式会社八幡」による飲食店「すしべん」の出店が叶い、既存企業の設備拡充が順調に進むなど、産業振興や交流人口の拡大にも弾みがついてまいりました。

一方、コロナ禍がもたらした「新たな日常」では、デジタル化への対応が注目されます。市の危機管理においては、防災情報をお知らせしてきた「防災行政無線設備等」を新しい「防災情報システム」に再整備する計画をしており、多様な手段を活用した迅速かつ確実な情報伝達と市民の安全安心な生活確保を目指すこととしております。その他、医療介護や農業へのデジタル技術の応用、教育のGIGAスクール構想への期待の高まりから、デジタル化のメリットを活かした市民サービスを提供してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しています。冬の寒さに備え普段からの体調管理に加え、これまでの経験を活かした感染防止対策を実践し、このような感染拡大が一日も早く終息することを願ひ、皆さまと共に力を合わせて対処してまいります。

最後に、本年が皆さまにとってご健勝で幸多き年となりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のあいさついたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、市議会の諸活動にご理解とご協力を賜りまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延につき、罹患りかんされました方に心よりお見舞いを申し上げますと共に、医療従事者をはじめ感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。また、感染拡大によりご不安な日常生活や事業運営を余儀なくされておられる皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

昨年は、全ての施策が移住定住の促進へと繋がるよう予算編成され、子育て環境の充実、産業・企業誘致の推進、また、能美市の魅力を存分に堪能できる「能美ふるさとミュージアム」の竣工等立ち止まることなく着実に歩みを進めることができました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、今後厳しい財政運営を強いられることも予想されますが、引き続き、防災・減災や感染症対策の一層の強化、年々増加する福

祉・介護・医療など社会保障関係経費への対応、また公共施設のアセットマネジメントの取組など、様々な行政課題に対応していかなければなりません。市政に携わる私たちは、弛まぬ努力の積み重ねにより発展してきた能美市の歴史を継承し、住民福祉をさらに向上させ、次の世代のために輝かしい未来を築いていく責務を負っております。

現状を見極め、今後の様々な社会状況の変化を見据えて、使命感をもつて積極的に挑戦していくことが大切であります。

さて、能美市議会では、昨年3月に「能美市議会議員定数条例」を制定し、現在の議員定数を18名から16名といたしました。本年10月の改選時から適用されることとなります。

また、平成26年に制定しました「能美市議会基本条例」が、条例制定から6年を経ており、市民の価値観の多様化に伴い議会と市民の意思が乖離乖離していないか、議会運営が条例どおり実施されているかなど、調査・研究を推し進めました。検証作業では、条文ごとに確認・評価を行い、その結果に基づき、改善

が必要としたものについては今後の対策を協議いたしました。

さらに、国ではデジタル強靱化社会の実現に向け様々な取組が加速するとされ、能美市でも、早急な対応が必要となってきましたが、能美市議会においては、紙資料削減による環境負荷の軽減、文書管理の適正化、議会運営の効率化を目的に令和3年度よりタブレット型端末機を導入することといたしました。今後も、協議・検討を重ね、タブレットの多角的な活用を図っていきたいと考えております。

今、私たちは、新型コロナウイルス感染症により、かつてない時代の転換期を迎えています。市民の安全・安心な生活を守るとともに、経済への打撃を最小限に食い止め、よりよい暮らしを送ることができるよう、能美市議会として、市民の皆様のご意見に耳を傾け、議会に課せられた責任と役割を十分果たせるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のこの一年のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

能美市議会議長 居村清二



能美ふるさとミュージアム にぎわいイベントが開催されました

12月13日、能美ふるさとミュージアムで、にぎわいイベントが開催されました。クリスマスツリーの飾り付けやスタンプラリー、健康づくり教室、「のみバス」の試乗体験、そして第5回九谷ぬり絵コンテストの表彰式など様々なイベントが開催され、多くの人でにぎわいました。



すばく寺井で行われたシェイプボクシング教室



ツリーに飾り付けるオーナメントを作る子どもたち



3メートルのクリスマスツリーが飾られました

「のみバス」乗車 200 万人達成！
クリスマス仕様の「のみバス」展示コーナー大好评！



200 万人目の河越さんご一家とくす玉を開きました

「のみバス」の延べ利用者数が 200 万人に達し、能美ふるさとミュージアムエントランスで記念セレモニーを開催しました。お祝いのくす玉を開いた後、井出市長から 200 万人目の河越さんご一家に花束と記念品が贈られました。

クリスマス仕様の「のみバス」展示コーナーでは、多くの方が試乗体験し、当日限定のいつもと違う「のみバス」を楽しんでいました。



クリスマス仕様の「のみバス」展示コーナー

「こどもミュージアムのみっけ」の利用が0歳児から可能になりました！

これまで、感染症対策のため対象年齢を 3 歳から 12 歳（小学校 6 年生）までとしていましたが、感染防止対策を徹底することで、0 歳からご利用いただけるようになりました。対象年齢が広がりますので、お客さまにも一層の感染症対策、安全管理へのご協力をお願い申し上げます。

なお、利用定員は当分の間、同時に 10 人までとさせていただきます。

本紙 21 ページの「能美ふるさとミュージアム館内紹介」もぜひご覧ください！

Hot news



新型コロナウイルス感染症

に関する大切なお知らせ

冬のコロナ対策へのご協力をお願いします！

いつも感染拡大防止にご協力いただき、ありがとうございます。

引き続き、マスクの着用、3密の回避、手洗い、消毒など、基本的な対策の徹底、会話の際にはいつでもマスクをつけて、会食の際は「静かなマスク会食」をお願いします。

年末年始は、家族、親せきが集まる機会も多くなります。感染リスクが高まる「3つの場面」が、皆さまの生活の中に潜んでいないか、ご確認ください。

年末年始の感染リスクが高まる3つの場面

場面①

飲食を伴う懇親会等



- 飲酒に伴い注意力が低下する
- 聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい
- 回し飲みや箸の共有は感染リスクあり

場面②

大人数や長時間におよぶ飲食



- 長時間の飲食、接待に伴う飲食など
- 大人数の飲食は、大声になり飛沫が飛びやすい

場面③

マスクなしでの会話



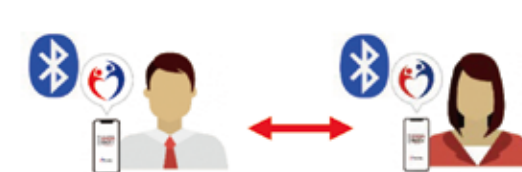
- 昼カラオケなどでクラスターが確認されています
- マスクなしでの近距離での会話は感染リスクあり

年末年始は外出の機会が増えると思います。

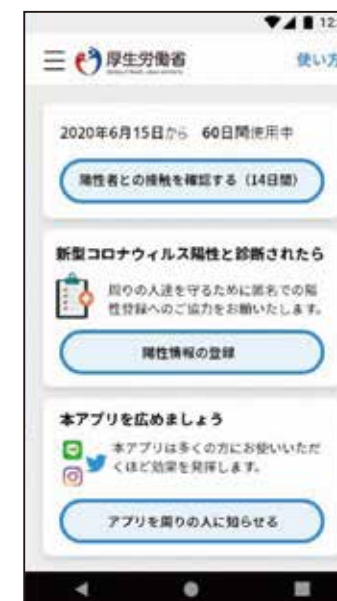
新型コロナウイルス接触確認アプリ 「COCOA」をインストールしましょう。

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診などのサポートを早く受けることができます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性

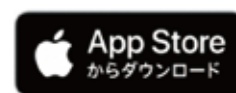


- ・ 接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはありません
- ・ どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※ 端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※ 記録は14日経過後に無効となります
- ※ 連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません



画面イメージ

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

